

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-5-1	事務事業名 公民館施設の改修	所管部課 教育部 公民館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的 建築後20年を越し老朽化が進む施設の改修に取り組むことで、より一層のバリアフリー化とエネルギー効率を考えた施設改修を計画的に執行する。 谷戸出張所の跡施設を改修し、新たに公民館施設として学習活動の場の充実を図る。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 工事請負(一部は施設のリースを含む)により、以下のように施設を改修する。 1.空調機の定期的な交換を行う 2.施設内の危険箇所の改修(床や建具等)を行う 3.バリアフリー化、省エネルギー化を目的とした改修(便所、採光等)を行う。 4.平成21年度に谷戸出張所跡施設を公民館「創作室」の改修工事を予定している。その他に芝久保公民館、谷戸公民館の実施を検討している。両施設とも都営住宅内にあり、図書館・公民館あわせて改修する。	
	事業開始時期 平成21年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			5,040	93,357	49,873		
内訳	国庫支出金・都支出金							
	地方債	千円						
	その他 ()							
	一般財源		5,040	93,357	49,873		0	
所要人員(B)		人	0.05					
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	408	0	0		0	
臨時職員等賃金(C')		千円						
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	5,448	93,357	49,873		0	
単位当たりコスト (E)=(D)/ (改修箇所)		千円	5,448	93,357	49,873		#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	改修する施設数	目標値	箇所	1	1	1		
	目標値							
(指標の説明 など) 計画的改修が必要な箇所数。								
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一 改修が終わった施設数	目標値	箇所	1	1	1		
		実績値	箇所					
	二 改修による満足度(利用者)	目標値	%	70	70	70		
実績値		%						
(指標の説明 など) (二次)改修一定期間後に利用者に1ヶ月間アンケート調査を行い、改修内容に満足したかどうかを把握する。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用者懇談会等において、施設の計画的な改修や快適で安全に使える施設運営についての意見がある。
	事業実施上における制約や 財源確保等	谷戸出張所の改修以外の項目は、実施計画上の予算化の目途が立っておらず、通常の予算要求において考えるには、金額の確保は難しい状況と考える。ただし、空調機の交換については、機器のリース契約を行うことで、一時的な財政的な負担を緩和することが可能である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 9-5-1	事務事業名 公民館施設の改修	所管部課 教育部 公民館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 事業化 <input checked="" type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input checked="" type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	谷戸出張所跡地を公民館施設として活用するための改修については、市民意見を踏まえたものであり、計画に沿って事業を進められたい。 老朽化に伴う施設改修については、公共施設の保全の観点から、費用対効果や機能性の向上、中長期的な施設改修の方向性等を総合的に勘案し、財政部門とも十分に協議したうえで、適切な改修内容・実施時期について検討されたい。